

## 兵庫県丹波市での取り組み課題 その1

### 高校生と探求を考える！休耕地を活用した地域活性化事業

<概要／課題オーナー：地域おこし協力隊 滝澤 + 氷上西高校教員>

メンター：植地（カンデ）

2022年から高校で始まった探究の授業。探究（総合的な探究の時間）とは、生徒が自ら問いを立て、調査・分析・実践・発信まで行う学びのことですが、ここでは、地域・社会と関わりながら課題解決に挑む実践型の学びとして発展させます。テーマは「休耕地の活用」です。地域おこし協力隊とともに、現地調査や地域ヒアリングを起点に、活用案の検討から試行、発信までを一連のプロセスとして扱います。

#### <目標、内容イメージ>

生徒の主体性を引き出しつつ、地域と連携した実践的な学びを持続的に機能させる仕組みづくりを目指します。生徒の意欲差や教員の多忙さなどの現状の課題を踏まえ、誰もが無理なく参加できる探求プログラムの設計と運営体制の検討を行います。例えば、休耕地の現状把握、現場の声や地域の声集め、小さな実験を通して、地域との協働を軸に探究を再設計し、学校と地域が相互に価値を生む協働関係をつくります。

#### <こんな力が身に付くかも？>

- ・座学の知識と現地調査・意見交換の情報を整理し、アイデアを企画案にまとめる力
- ・社会課題を解決に近づけるチーム運営とコミュニケーション力
- ・相手に伝わるプレゼンテーション力
- ・興味関心を掘り下げ、学びにつなげる探究力
- ・観察・企画力（現場の状況やニーズを捉える力）

#### <プログラム詳細>

実施場所：兵庫県丹波市青垣町

日程：6～7月 ガイダンス、事前学習

7～9月 コンセプトの提案、取材、提案の作成、イベントの企画

9～12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：3名

協働者：佐治倶楽部、氷上西高校など

## 兵庫県丹波市での取り組み課題 その2

### 新しい自治組織の課題解決を考える！

<概要／課題オーナー：青垣地域活性化ネットワーク協議会>

メンター：出町＋植地（カンデ）＋地域おこし協力隊（2名）

青垣地域活性化ネットワーク協議会は、兵庫県丹波市青垣町において、地域住民・事業者・行政・教育機関など多様な主体が連携し、地域資源を活かしながら課題解決に取り組むため、昨年度に発足した新しい自治組織です。過疎が進む中山間地域で、暮らしを支え合いながら持続可能な集落をつくることを目的に、地域内外の協力を得つつ活動の土台づくりを進めています。

<目標、内容イメージ>

発足間もない段階で、地域住民・事業者・行政に加え、大学生など外部人材とも協働し、多様な視点を取り入れた地域づくりを進めます。まずは関係人口を増やす仕組みを整え、実践を積み重ねながら協働体制を育てることが目標です。具体的には、①空き家の掘り起こしと活用案づくり、②交流機会の設計（小さなイベント、作業体験、学びの場など）③地域資源を活かした小さな生業づくりの試行を行い、中山間地域の持続可能な集落モデル形成を目指します。

<こんな力が身に付くかも？>

- ・座学の知識と現地調査・意見交換の情報を整理し、アイデアを企画案にまとめる力
- ・社会課題を解決に近づけるチーム運営とコミュニケーション力
- ・相手に伝わるプレゼンテーション力
- ・興味関心を掘り下げ、学びにつなげる探究力
- ・観察・企画力（現場の状況やニーズを捉える力）

<プログラム詳細>

実施場所：兵庫県丹波市青垣町

日程：6～7月 ガイダンス、事前学習、ライブラリー会議への参加

7～9月 コンセプトの提案、取材、

アウトプット方法の検討、制作、古民家リノベーション

9～12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：3名

協働者：佐治倶楽部など

## 福井県大野市での取り組み課題

### 春日通りラボと隣地広場の改修と運営を考える！

<概要／課題オーナー：奥越スパイス研究会> メンター：横町編集部

大野市では 2045 年に空き家が約 4,000 戸に達すると見込まれ、家が余る時代に入っています。そこで本課題では、建築を「どこに・どう建てるか」だけでなく、「なぜ建築が必要か」を問い直しつつ、春日通りラボと隣地広場を拠点として、空間整備と運営計画を一体で検討します。また、限られた改修費で改修案を考え、運営体制と収益モデルも構想し、地域を豊かにする建築の問いを実践的に考えます。

#### <目標、内容イメージ>

この課題では、春日通りラボと隣地広場を「ひとつの拠点」として捉え、事業全体の構想と、具体的な実践を行き来しながら、ハード班・ソフト班に分かれて一緒に提案をつくっていきます。ハード班は、地域の中で取材や観察、先行事例を調べながら、限られた改修費の中で、ラボの空間のつくり方、広場とのつながり方を考えます。ソフト班は、関係者との対話や調整、小さな実践と振り返りを重ね、拠点に関わる人を増やし、開ける日や活動の機会を広げる運営体制や収益のしくみを組み立てます。両班の協働とフィードバック、地域住民と協力しながら、実現可能な提案づくりを目指します。

#### <こんな力が身に付くかも？>

- ・観察力 : 取材、観察、事例調査を通して現場の条件や背景を読み解く
- ・統合設計力 : 本質的な課題を見立て、空間（改修）と運営を一体で組み立てる
- ・企画実行力 : 限られた予算の中で実現性の高いアイデアを形にする
- ・協働力 : 関係者と対話・調整し、チームで情報共有・役割分担して進める
- ・検証発信力 : 実験→検証→改善を回して精度を高め、根拠とストーリーをもって提案

#### <プログラム詳細>

実施場所：福井県大野市春日通り

日程：6～7月 ガイダンス、事前学習

7～9月 コンセプトの提案、取材・フィールドの観察、提案の作成、イベントの企画、改修WSの実施（毎月第3土曜日）

10月 春日通りラボオープン

11～12月 拠点の運営・広場利用の社会実験・都市部での出店・成果報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：5名（ソフト班：3名、ハード班：2名）

協働者：横町編集部・日吉町4区・市内飲食事業者・大野市など

## 河内長野市南花台での取り組み課題

### まちの魅力を編集して届ける。地域アンバサダーを考える！

＜概要／課題オーナー：咲っく南花台事業者の会＞ メンター：関谷（カンデ）

「地域を盛り上げたい」って、実はめちゃくちゃ面白い。河内長野市南花台の事業者や地域団体と一緒に、若者の視点で“行ってみたいくなる南花台”をつくるプロジェクトです。あなたは南花台の“宣伝大使（アンバサダー）”として、アイデアを出すだけでなく、実際に動かして成果をつくるまでチャレンジします。

例えば、Z世代視点の SNS 運用／デジタルスタンプラリー等の仕組みづくり／若者が来たいくなるコンテンツ企画／来場者の動線・満足度の調査と改善提案／などに、チャレンジできるかもしれません。地域の関係者と協働しながら、企画から提案実施まで、地域住民と協働で行います。

#### ＜目標、内容イメージ＞

南花台の「課題」と「魅力」を現場で見つけ、【誰に・何を・どう届けるか】を実践しながら学びます。企画づくりだけで終わらず、地域の人たちと調整しながら実行して、結果（数字や反応）まで出すのがこの課題のポイントです。

#### ＜こんな力が身に付くかも？＞

- ・社会課題の捉え方／価値提案（プロダクト・サービスの考え方）
- ・マーケティング・コミュニケーション（SNS 運用、コピー、撮影・編集、広報設計）
- ・デジタル活用（フォームによるデータ収集、運用設計、仕組み化）
- ・イベント設計と運営（企画、段取り、当日運営）
- ・調査分析と改善提案（ヒアリング、アンケート、レポート）

#### ＜プログラム詳細＞

実施場所：大阪府河内長野市南花台（とその周辺エリア）

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

8-12月 河内長野市商店連合会との打ち合わせ、ヒアリング等の調査  
アウトプット方法の検討、企画提案など

12月 最終発表

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：5名

協働者：咲っく南花台事業者の会、市内事業者、地域住民